

茨城の犯罪 1995

— 平成 7 年の犯罪概況 —

1 総括

- 認知件数（交通関係業務上等過失致死傷罪を除く。以下同じ。）は34,596件で過去最高
- 被殺傷者は、503人で平成6年（以下「前年」という。）に比べ10.1%増加
- 財産の被害総額は、約44億8,700万円で、回復額は約7億5,700万円で、被害回復率は16.9%
- 刑法犯犯罪少年は、2,255人で、前年に比べ0.3%減少し、検挙人員に占める割合は44.7%

2 重要犯罪及び重要窃盗犯の認知・検挙状況

(1) 重要犯罪

重要犯罪（殺人，強盗，放火，強姦，略取・

第1表 重要犯罪認知・検挙状況

区分 罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員		
	7年	前年比	増減率	7年	前年比	増減率	7年	前年比	7年	前年比	増減率
重要犯罪	211	△21	△9.1	200	△7	△3.4	94.8	5.6	143	15	11.7
殺人	28	△13	△31.7	28	△7	△20.0	100.0	14.6	34	6	21.4
強盗	45	△14	△23.7	39	△2	△4.9	86.7	17.2	42	△1	△2.3
放火	51	△4	△7.3	51	△4	△7.3	100.0	0.0	21	△1	△4.5
強姦	39	4	11.4	38	6	18.8	97.4	6.0	30	15	100.0
略取・誘拐	7	△1	△12.5	7	△1	△12.5	100.0	0.0	2	△1	△33.3
強制わいせつ	41	7	20.6	37	1	2.8	90.2	△15.7	14	△3	△17.6

第2表 重要窃盗犯認知・検挙状況

区分 手口	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員		
	7年	前年比	増減率	7年	前年比	増減率	7年	前年比	7年	前年比	増減率
重要窃盗犯	8,239	302	3.8	6,665	697	11.7	80.9	5.7	392	△123	△23.9
侵入盗	6,998	64	0.9	5,891	596	11.3	84.2	7.8	267	△93	△25.8
自動車盗	1,017	213	26.5	670	124	22.7	65.9	△2.0	116	△14	△10.8
ひったくり	182	23	14.5	81	△8	△9.0	44.5	△11.5	8	△10	△55.6
すり	42	2	5.0	23	△15	△39.5	54.8	△40.2	1	△6	△85.7

誘拐及び強制わいせつの各罪種をいう。)の認知件数は211件、検挙件数は200件、検挙人員は143人で、前年と比較すると第1表のとおり、検挙人員は15人(11.7%)に増加しているが認知件数は21件(9.1%)、検挙件数は7件(3.4%)それぞれ減少している。

(2) 重要窃盗犯

重要窃盗犯（侵入盗，自動車盗，ひったくり及びすりの各手口をいう。）の認知件数は8,239件、検挙件数は6,665件、検挙人員は392人で、前年と比較すると第2表のとおり、認知件数は302件(3.8%)、検挙件数は697件(11.7%)増加したが、検挙人員は123人(23.9%)減少している。

3 罪種別にみた認知状況

(1) 凶 悪 犯

○凶悪犯は減少

凶悪犯の認知件数は第3表のとおり前年に比較し、全国は7.5%の減少で殺人のみが増加で、他は

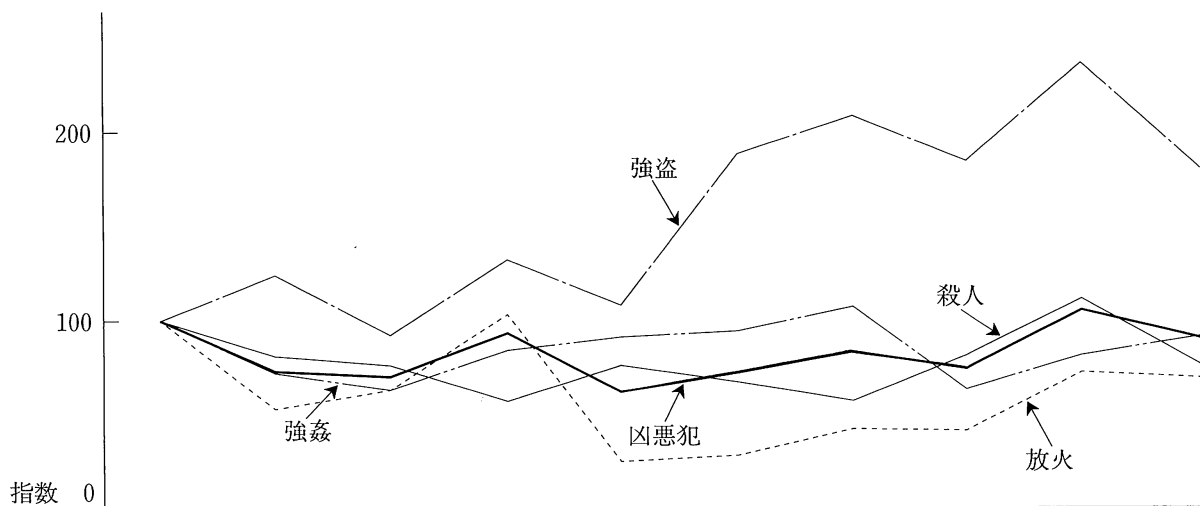
減少となっている。本県は認知件数163件で、27件(14.2%)の減少で、強姦のみが増加で他は減少となっている。

凶悪犯認知件数の10年間の推移としては、第1図のとおり、前年をピークに波動的に推移している。昭和61年を指数100とした場合、本年は指数90となっている。

第3表 凶悪犯罪種別前年比較

罪 種	区 分	全 国			本 県		
		認 知	対前年 (件)	増減率 (%)	認 知	対前年 (件)	増減率 (%)
凶 悪 犯		6,768	△552	△7.5	163	△27	△14.2
殺 人		1,281	2	0.2	28	△13	△31.7
強 盗		2,277	△407	△15.2	45	△14	△23.7
放 火		1,710	△31	△1.8	51	△4	△7.3
強 姦		1,500	△116	△7.2	39	4	11.4

第1図 凶悪犯認知件数の推移 (指数)



凶 悪 犯	100	73	70	93	62	72	83	74	105	90
殺 人	100	81	76	57	76	62	57	81	111	76
強 盗	100	124	92	132	108	188	208	184	236	180
放 火	100	53	63	103	25	28	42	41	72	67
強 姦	100	72	63	84	91	93	107	63	81	91
年 次	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7

■ 調査から

(2) 粗 暴 犯

○ 傷害、恐喝が増加

本年の粗暴犯の認知件数は第4表のとおり前年に比較して、全国は1.8%の減少で、凶器準備集合、暴行が増加で他は減少となっている。本県は、認知件数635件で122件(23.8%)

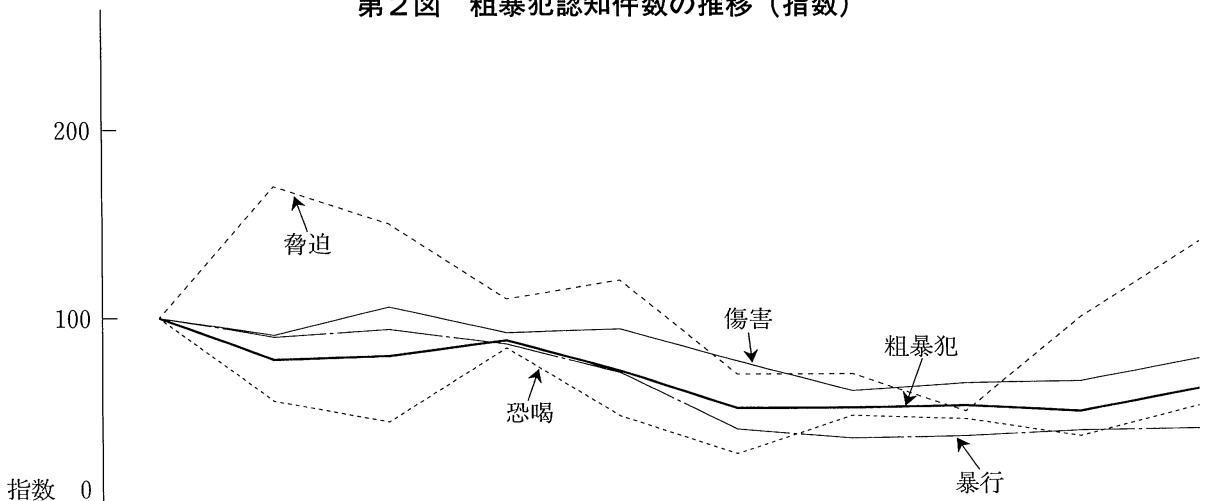
の増加で、凶器準備集合はないが、他は全罪種とも増加で、特に傷害、恐喝が増加している。

粗暴犯の10年間の推移は第2図のとおり、昭和61年をピークに以後減少傾向を示し、本年はやや増加に転じた。昭和61年を指数100とした場合、本年は指数62となっている。

第4表 粗暴犯罪種別前年比較

区 分 罪 種	全 国			本 県		
	認 知	対前年 (件)	増減率 (%)	認 知	対前年 (件)	増減率 (%)
粗 暴 犯	35,860	△655	△1.8	635	122	23.8
凶器準備集合	38	17	81.0			
暴 行	6,190	78	1.3	64	1	1.5
傷 害	17,482	△615	△3.4	347	54	18.4
脅 迫	943	△76	△7.5	14	4	40.0
恐 喝	11,207	△59	△0.5	210	63	42.9

第2図 粗暴犯認知件数の推移 (指数)



粗 暴 犯	100	78	80	88	72	52	52	53	50	62
暴 行	100	90	94	86	71	41	36	37	40	41
傷 害	100	91	106	92	94	77	61	65	66	78
脅 迫	100	170	150	110	120	70	70	50	100	140
恐 喝	100	56	45	84	48	28	48	46	37	53
年 次	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7

(3) 窃盗犯

- 出店荒し、車上ねらい、自動販売機荒しが増加

窃盗犯の認知件数は第5表のとおり、前年に比較して全国は0.8%の増加となっている。本県は認知件数32,068件で、2,180件(7.3%)増加している。

手口大種別の構成比を全国と比較してみる

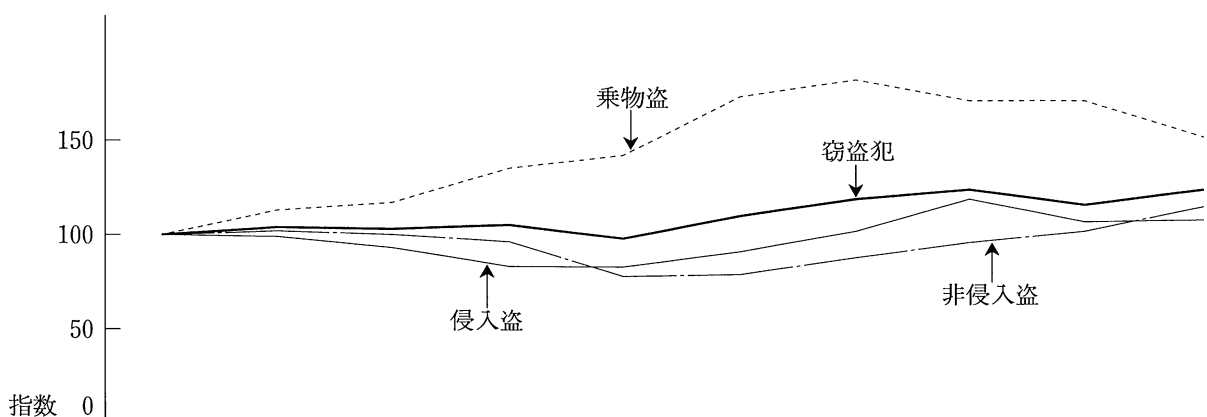
と、本県は侵入盗の割合が全国より高くなっている。

次に、窃盗犯認知件数の10年間の推移は、第3図のとおり、昭和61年から横ばい状態で推移し、平成3年から増加傾向を示し、前年は減少したものの本年は増加に転じた。昭和61年を指数100とした場合、本年は指数124となっている。

第5表 窃盗犯手口大種別前年比較

区分 手口大種別	全 国				本 県			
	認 知	構 成 比	対前年(件)	増減率(%)	認 知	構 成 比	対前年(件)	増減率(%)
窃 盗 犯	1,570,492	100	12,754	0.8	32,068	100	2,180	7.3
侵入盗	234,586	14.9	△13,075	△5.3	6,998	21.8	64	0.9
乗物盗	664,508	42.3	771	0.1	11,716	36.5	617	5.6
非侵入盗	671,398	42.8	25,058	3.9	13,354	41.7	1,499	12.6

第3図 窃盗犯認知件数の推移（指数）



窃 盗 犯	100	104	103	105	98	110	119	124	116	124
侵 入 盗	100	99	93	83	83	91	102	119	107	108
乗 物 盗	100	113	117	135	142	173	182	171	171	152
非 侵 入 盗	100	102	100	96	78	79	88	96	102	115
年 次	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7

(4) 知能犯

○ 知能犯は減少

本年の知能犯の認知件数は第6表のとおり、前年に比較して、全国は10.7%の減少で、どの罪種も減少となっている。本県の認知件数は、1,365件で87件（6.0%）の減少で偽造の

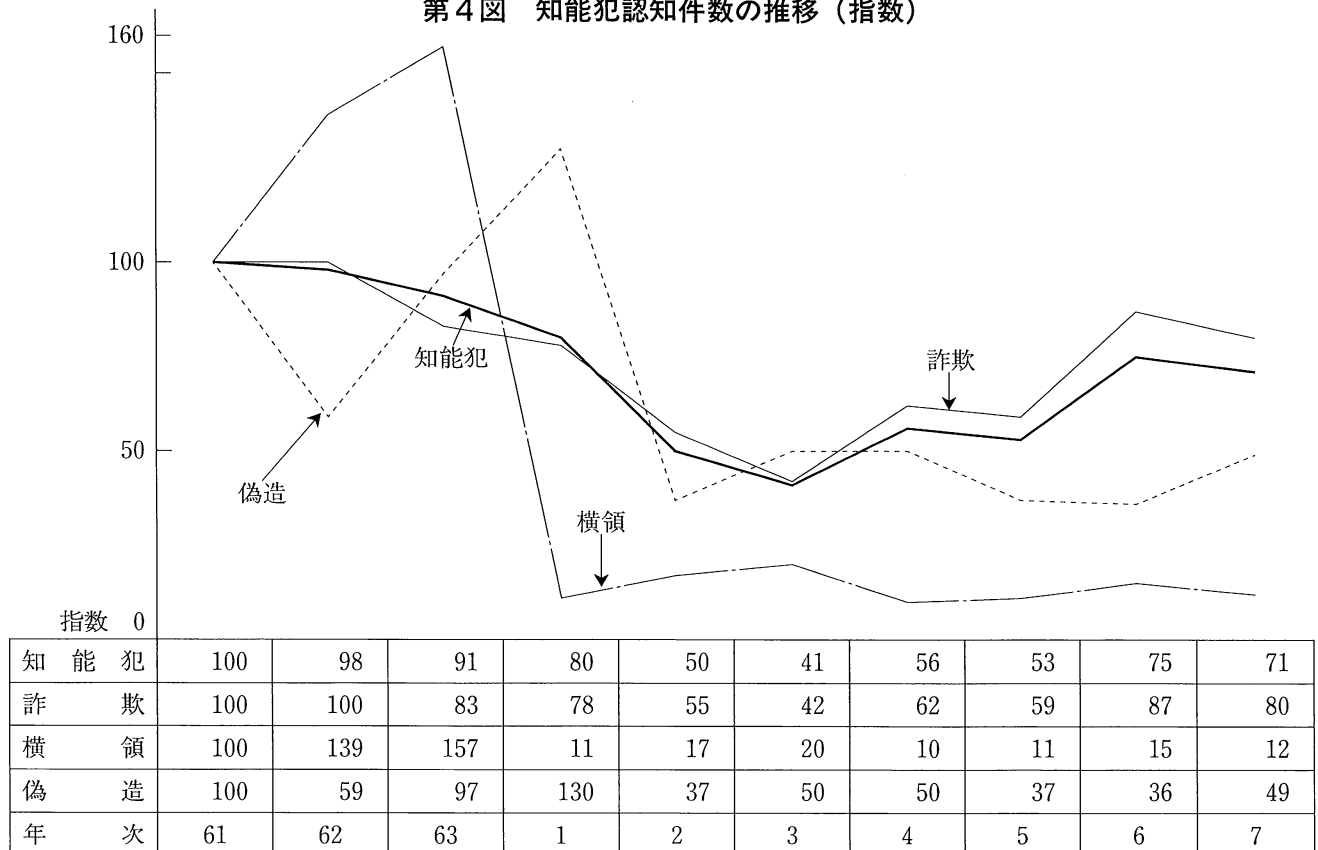
みが増加で、他は減少している。

次に、知能犯認知件数の10年間の推移としては、第4図のとおり、昭和61年から平成3年を最低に減少傾向を示し、平成4年、前年と増加している。昭和61年を指数100とした場合、本年は指数71となっている。

第6表 知能犯罪種別前年比較

区 分 罪 種	全 国			本 県		
	認 知	対前年 (件)	増減率 (%)	認 知	対前年 (件)	増減率 (%)
知 能 犯	56,928	△6,852	△10.7	1,365	△87	△6.0
詐 欺	45,923	△6,124	△11.8	1,229	△111	△8.3
横 領	1,632	△243	△13.0	19	△ 4	△17.4
偽 造	9,159	△456	△4.7	113	30	36.1
讀 職	176	△ 9	△4.9	4	△ 2	△33.3
背 任	38	△20	△34.5			

第4図 知能犯認知件数の推移（指数）



(5) 風俗犯

○ 風俗犯は増加

本年の風俗犯の認知件数は第7表のとおり、前年に比較して全国は0.7%の増加で、賭博のみが減少で他は増加となっている。本県は、

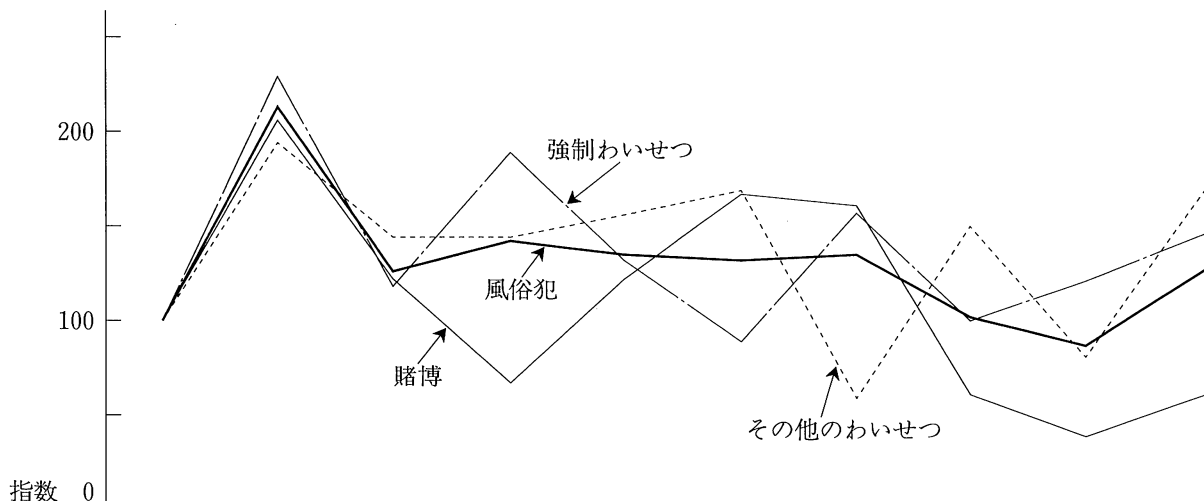
認知件数79件で25件（46.3%）の増加で、全罪種とも増加となっている。

次に、風俗犯認知件数の10年間の推移としては、第5図のとおり、昭和62年が最も高く、以後減少し横ばい状態に推移していたが、平成5年、前年と減少し、本年は増加に転じた。

第7表 風俗犯罪種別前年比較

罪種	全 国			本 県		
	認 知	対前年 (件)	増減率 (%)	認 知	対前年 (件)	増減率 (%)
風 俗 犯	6,157	45	0.7	79	25	46.3
賭 博	702	△72	△9.3	11	4	57.1
強制わいせつ	3,644	64	1.8	41	7	20.6
その他のわいせつ	1,811	53	3.0	27	14	107.7

第5図 風俗犯認知件数の推移（指数）



風 俗 犯	100	213	126	142	135	132	135	102	87	127
賭 博	100	206	122	67	122	167	161	61	39	61
強制わいせつ	100	229	118	189	132	89	157	100	121	146
その他のわいせつ	100	194	144	144	156	169	69	150	81	169
年 次	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7

4 市町村別に見た刑法犯発生状況

刑法犯認知件数の多い20市町村についてみると第8表のとおり、水戸市が4,511件、占有率13.0%で最も多く、次いでつくば市2,682件(7.8%)、日立市2,604件(7.5%)、土浦市2,374件(6.9%)、ひたちなか市1,743件(5.0%)、取手市1,310件(3.8%)となっており、これらの認知件数1,000件以上の6市の認知件数は県全体の44.0%を占め、人口は、32.7%を占めている。

犯罪率(人口1万人当たりの認知件数)をみると、犯罪率の高い20市町村は第9表のとおりで、18市町村が県平均の犯罪率(117.1件)を上回っ

ている。

各市町村の犯罪率の状況は第6図のとおりで、水戸市、土浦市、神栖町、つくば市、大洗町、取手市、新利根村、石岡市、千代田町、東海村、守谷町、藤代町、日立市の13市町村が、犯罪率130件以上の高い市町村となっている。

一方、犯罪率の低い市町村は、金砂郷町(28.0件)、大和村(36.1件)、七会村(38.2件)、麻生町(38.2件)、河内村(38.4件)、北浦村(38.5件)、千代川村(40.6件)、緒川村(41.1件)、山方町(43.4件)、美和村(46.4件)等で、これら10町村は、犯罪率50件にみえない低い市町村である。

(県警察本部刑事総務課)

第8表 刑法犯多発20市町村

市町村別	認知件数	占有率
総数	34,596	100.0
1 水戸市	4,511	13.0
2 つくば市	2,682	7.8
3 日立市	2,604	7.5
4 土浦市	2,374	6.9
5 ひたちなか市	1,743	5.0
6 取手市	1,310	3.8
7 竜ヶ崎市	883	2.6
8 神栖町	789	2.3
9 石岡市	767	2.2
10 下館市	741	2.1
11 牛久市	713	2.1
12 古河市	639	1.8
13 守谷町	602	1.7
14 鹿嶋市	593	1.7
15 結城市	546	1.6
16 総和町	466	1.3
17 那珂町	465	1.3
18 東海村	456	1.3
19 藤代町	443	1.3
20 波崎町	440	1.3

第9表 犯罪率の高い20市町村、平成3年との比較

市町村別	犯罪率	
	平成7年	平成3年
県平均	117.1	105.1
水戸市	183.1	162.6
土浦市	179.5	192.4
神栖町	177.4	184.7
つくば市	171.9	133.3
大洗町	160.9	138.2
取手市	155.1	137.8
新利根村	151.9	43.0
石岡市	145.5	148.3
千代田町	141.9	104.2
東海村	139.3	94.0
守谷町	131.4	83.1
藤代町	131.0	97.7
日立市	130.7	120.2
竜ヶ崎市	127.7	110.4
友部町	125.8	118.6
境町	124.5	92.3
ひたちなか市	118.8	102.1
旭村	118.5	140.9
大洋村	116.1	79.4
波崎町	113.7	94.9

